

10/26 週刊

引き下げる署名広げる

来年4月から国民健康保険（国

保）の財政運営を市町村から県に移す制度改変が進められています。徳島県でも、高すぎる国保料（税）のさらなる引き上げや強権的徴収への不安が広がっています。そんななか、国保料の引き下げを求める署名を取り組んでいます。

（徳島県 藤原聰）

県内の2016年度の国保料は、4人世帯（夫・妻・パート収入300万円、子2人）で、阿波市49万円、石井町47万円、徳島市46万5千円にもなります。加入者が最も多い徳島市は、所得に占める国保料の負担割合が県庁所在地で全国1位。滞納世帯の割合も全国平均を上回る22%で、その7割は所得60万円未満です。国保料の引き下げる署名は市民の願いです。

非正規雇用の警備員として働く徳島市の男性

無保険で重症化

「無保険での受診、相談が毎月2~3人あります」と指摘するのは、徳



島健生病院地域連携相談室の医療ソーシャルワーカー、内田淳子さんです。

5年前に国保税などの滞納で差し押さえ処分を

受けた小松島市の飲食店

経営の男性（61）は「払

えない事情をわかつても

うえなかつたのが悔し

い」と話します。

当時、営業上の借金を

抱え、売り上げも伸び悩

み、新聞配達を掛け持ち

して生活を支える状況。

督促状などの文書が届い

ます。

井上尚会長は「国が国庫負担を削り、自治体と住民に負担を押し付け、過酷な国保制度にした」と指摘し、「それだけに県が住民の立場で国行政をすすめること」が求められる」と語ります。9月末には国保学習会を開き、10月からの自治体キャラバンなど取り組みを強めています。

日本共産党的上村恭子

県議は「県は国の言うま

まに収納率向上、医療費適正化を決めようとして

います。署名を広げ、払

える国保料にするために

全力をあげます」と話し

ています。5年前に国保税などの滞納で差し押さえ処分をしました。

国保料滞納世帯への差し押さえなど非情な取り立ても問題です。

それでも問題です。

文書だけでなく、直接、声をかけてほしい」と語りました。



国保料の引き下げる署名に取り組む県社保協の人たち=23日、徳島市

日本共産党的上村恭子
県議は「県は国の言うま
まに収納率向上、医療費
適正化を決めようとして
います。署名を広げ、払
える国保料にするために
全力をあげます」と話し

12月県議会めざし3万人目標



国保料の引き下げる署名に取り組む県社保協の人たち=23日、徳島市

日本共産党的上村恭子
県議は「県は国の言うま
まに収納率向上、医療費
適正化を決めようとして
います。署名を広げ、払
える国保料にするために
全力をあげます」と話し